

# 津波 ハザードマップ

沼津市(改定版)

## 静浦地区Ⅱ

津波避難施設：4ヶ所  
避難路：33路線



**まず確認**

□ あなたのお住まいはどちらですか？  
□ 最寄りの津波避難施設を探しましょう

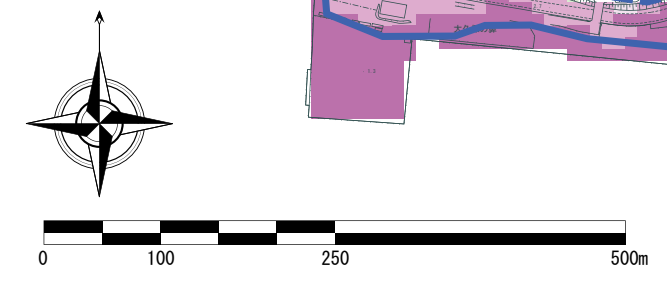
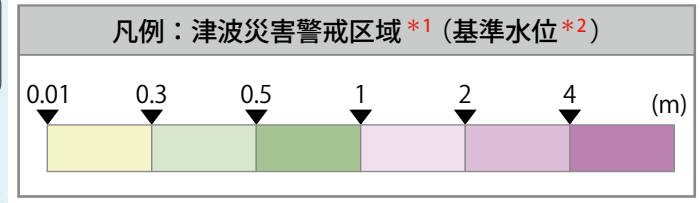
(例) 静11

### 江浦地区

### 多比地区

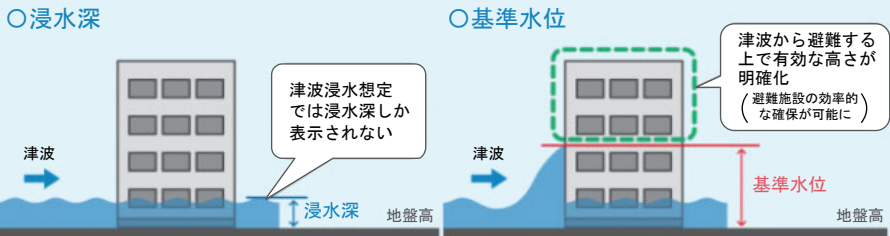
### 口野地区

凡例	
	※1 地震発生から10分
	陸域での津波の浸水深が30cmとなる時間
	※2 地震発生から20分
<b>静Ⅱ1</b>	津波避難ビル番号(裏面参照)
	受入可能人数 1000人以上
	津波避難ビル 受入可能人数 100人~1000人
	受入可能人数 100人未満
	津波避難マウント
	津波避難路
	静15-路線番号13m-海拔
	津波孤立予想地区用防災倉庫
	津波避難訓練対象区域の境界 ※3
	7.7 海岸堤防・河川堤防高(m)
	8.0m 海岸部の想定津波高
	1.9 海拔(m)



<\*1 津波災害警戒区域(イエローゾーン)>  
津波災害警戒区域(イエローゾーン)とは、津波災害を防止するため警戒避難体制を特に整備すべき区域であり、区域内では基準水位が表示されます。沼津市では、図中の凡例の着色域が、津波災害警戒区域(イエローゾーン)に指定されています。

<浸水深と\*2基準水位>  
基準水位は、津波浸水想定での浸水深に、津波が建物等に衝突した際のせり上がりの高さを加えた水位で、津波に対して安全な高さを示しています。なお、基準水位は津波浸水想定における浸水深と同様、地盤面からの高さ(水深)で表示します。




※1 海岸部の津波高、陸域の津波浸水深及び到達時間は、県第4次地震被害想定における最大の津波想定を元にしています。

※2 津波の基準水位が30cm以上になると、人命に影響する恐れがあります。基準水位の目安及び危険度については裏面を参照してください。

※3 津波避難訓練対象区域とは、東日本大震災後の平成23年度に、沼津市でこれまで最も被害を受けた安政東海地震(1854年)の津波浸水域を含む単位自治会の区域を「津波避難訓練対象区域」と定め、津波対策や避難訓練に取り組む区域です。



## ■ 地震・津波から身を守るために



**突発地震発生**

まず身の安全を確保

津波の危険

**「少しでも早く! 少しでも高く!」**

津波から 避難場所 高台(避難路などで高台に避難)、津波避難ビル

**避難するときの注意は?**

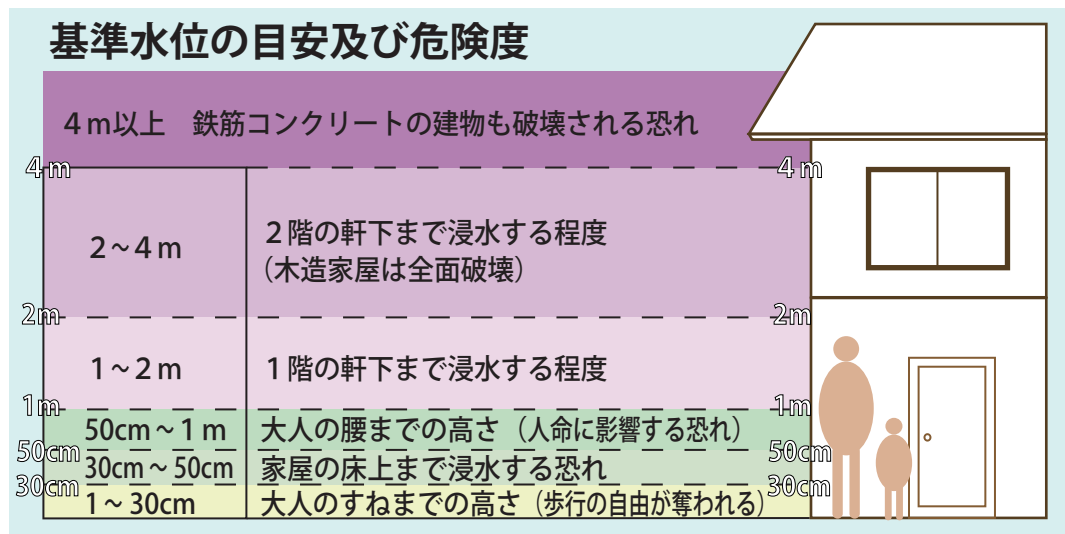
- 1 我が身の安全を最優先
- 2 津波災害警戒区域の外へ逃げる
- 3 車による避難は原則禁止

**いつまで避難するの?**

- 1 津波警報、注意報が解除されるまで避難場所にとどまる
- 2 波が引いてもすぐ戻らない
- 3 津波は第2波以降が最大の場合もある

## ■ ハザードマップの使い方①【基準水位の目安及び危険度】

このハザードマップは、地震で津波が発生したときに予測される基準水位を色別で表しています。基準水位の目安及び危険度は下図に示すとおりです。あなたのお住まいや職場、学校がどの程度浸水するのか、またどの程度の危険があるのか確認して下さい。



## ■ 津波避難ビル

地震発生後に津波から避難する際は、時間の猶予がないことから、高台への避難が不可能となる場合があります。近くに高台がないなどの場合は津波避難ビルをご利用ください。津波避難ビル一覧は下記のとおりです。津波避難ビルには右記の標識(※1)が掲げられているため、日頃からお近くの避難ビルを確認し、地震発生時に避難できるようにしましょう。また、避難ビルによっては、避難できる時間帯が限られる場合があります。避難訓練の際などに確認するようにしましょう。

※1 津波避難ビルの中には、都合により標識が掲げられていない施設があります。



## ■ 津波避難訓練

### 対象区域の自治会

連合自治会	津波避難訓練対象区域の自治会
静浦地区	江浦
	多比
	口野

### ■ 津波避難ビル一覧

No.	施設名	建物階数	外階段
静Ⅱ1	沼津市南部浄化センター	3	無
静Ⅱ2	(有) 秋又水産冷蔵庫	3	有
静Ⅱ3	マリンヴィラ沼津	3	有

※ 避難するための共有スペースが少ないビルや無人となるため避難できる時間帯が限られるビルがあります。また、外階段が「有」となっているビルでも扉がついている場合もありますので、訓練のときに確認しましょう。

令和5年11月現在

## ■ 情報の入手先

### 沼津市公式防災アプリ

「沼津市公式防災アプリ」は、防災関連情報や防災マップの確認、安否登録機能等を備えた防災アプリです。災害発生時・平常時を問わず無料でご利用いただけます。日頃から危機管理情報を取得する手段としてご活用ください。



アプリは左記QRコードからインストールしてご利用ください。

Androidの方



iPhoneの方



### 同報無線 自動応答システム

055-955-5255

地震発生時に、同報無線が聞き取りにくく、避難指示等を聞き逃してしまった場合に、こちらの番号におかけいただくと、自宅の電話や携帯電話から、放送した内容をもう一度ご確認ください。

### 沼津市危機管理 情報メール

登録した皆さんに市が把握している危機管理情報等を配信しています。地震発生時の情報収集のため、事前に登録してご利用ください。

下記QRコードから登録してご利用ください

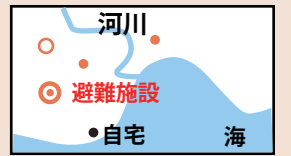


## ■ ハザードマップの使い方②【避難経路を確認しよう】

あなたのお住まいはどちらですか?

最寄りの津波避難施設を探しましょう

(例)避難路: 静11

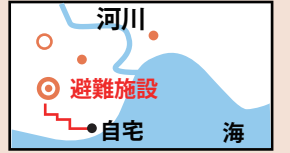


最寄りの津波避難施設までの避難経路を確認しましょう

#### 避難経路を選ぶポイント

徒歩で避難することを前提に、避難経路を選びましょう

- 津波は河川をさかのぼってきます。河川を渡る、近くを通るのは避けましょう
- 地震で建物やブロック塀などが倒れても通行できる広い道を選びましょう
- 夜間、停電時でも安全に通行できる目印のある道路を選びましょう



あなたの設定した避難経路を実際に歩いてみましょう

【気付いたこと】

【所要時間】

分

#### 避難経路を歩く時のポイント

- あなたのお住まいから津波避難施設までの時間を確認しましょう
- 河川やブロック塀など、避難する時に障害となるものがないか確認しましょう
- 避難施設にたどり着く前に浸水が始まってしまった場合のために、近くにある避難施設となりそうな建物(鉄筋コンクリート造で3階以上)も確認しましょう

あなたのお住まい以外で、日頃よく訪れる場所(通勤通学先やスーパー等)からの避難経路も同じように考えてみましょう